

## 休日当番病・医院

6月4日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター  
旭町 32-0099
- ◆外科 勤医協苦小牧病院  
見山町 72-3151
- ◆歯科 沖齒科医院  
見山町 72-8558

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。



親身な相談で定評

## 法律相談



6月23日(金)  
内田 信也 弁護士

(定員になり次第締め切ります)  
日本共産党苦小牧地区委員会  
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

# 日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086  
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>  
苦小牧市議会ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>  
eメールアドレス [commun@rose.ocn.ne.jp](mailto:commun@rose.ocn.ne.jp)

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします

## 共産党が衆院選北海道比例区に畠山氏擁立 議席奪還



軍拡・大増税をストップし、暮らしと地域を支え、領土・アイヌ・核のゴミなど道民の声を届け、日本を変える北海道からの議席が必要です。議席奪還へがんばります」と決意を表しています。

畠山氏は23日、朝の札幌駅前、擁立の報告を交えて街頭宣伝を行いました。14年の現職時に国会で「TPP(環太平洋連携協定)ストップ。北海道の農林漁業を守ろう」という道民の声を届け、北海道に欠かせない鉄路や千島領土問題でも当時の

## 核のない世界を世界は求めている

平和大行進で集会

核抑止正当化に憤り



核兵器廃絶と被爆者援護を訴えながら、被爆地広島・長崎をめざして歩く「2023年原水爆禁止国民平和大行進」の北海道・東京幹線コースと網の目のえりもコースが苦小牧市で合流した5月25日、苦小牧集会所が若草町の中

央公園で開かれ、「たすき」が引き継がれました。コロナ禍で中止していた全国通し行進者の行進を4年ぶりに再開しました。全国通し

行進者の山口逸郎さんは、網走から82日間かけて東京・上野まで行進すると報告。「10年前の80歳から平和行進に参加し、現在91歳。みんな平和を愛しており、各地で折り鶴が託され、励ましを受けています。66回目の伝統ある平和大行進であり、元氣よく苦小牧市内を歩かせていただき、核兵器禁止を一步でも二歩でも歩いて訴えていきたい」と決意表明しました。

道内行進者の小川基弘さんは、納沙布岬をスタートし、札幌に寄り、襟裳岬から行進して苦小牧に入りました。「原爆は悪魔の兵器です。G7広島サミットは核抑止力を正当化し、核兵器禁止条約には触れていないのは許せません。核兵器がなくなるよう訴え続けたい」と力を込めました。

北海道原水協の嶋田千鶴子事務局長は、「広島サミットで各首脳らは原爆資料館を訪れ、被爆者らと対話したため核兵器廃絶に力強いメッセージが期待されたが、核抑止論を発表する場となった。極めて重大です。被爆者が命がけで訴えてきたことが無視され、憤りを覚えています」「ブラジルなどの国が核廃絶に動いており、核大国がリードする流れではなく、『核のない世界』を世界は求めています。核兵器禁止条約の発効をつけたのは私たちの運動です。確信をもちましょう」と強調

しました。集会はわたぼうしの歌声で開会し、約40人が参加。平和行進では、山口さんの音頭で「こんにちは平和大行進です」「ノーモア広島、ノーモア長崎、ノーモア被爆者」などと声をあげアピールしました。家から出てきて手を振ってくれたり、下校中の生徒らが声をかけたりしていました。集会には、日本共産党の原啓司、森本健太両苦小牧市議が参加しました。山口さんは翌26日、市役所を訪れ、苦小牧原水協副理事長の原市議が同行して、市長・議長・教育長を訪問し、署名などを受けました。午後には、「たすき」は白老町に引き継がれました。

## 映画の紹介

◆ハマのドン 松原文枝監督  
シネマトーラス 6月17日  
23日 横浜カジノ誘致阻止に政権中枢と闘う港の親分。



マイナカード強制になる  
健康保険証の  
廃止 撤回を  
日本共産党

## 読者の激励と二人三脚のおかげ

## 小野寺市議

ピンクのニュース1000号

日本共産党の小野寺幸恵苦小牧市議が綴り発行している『こんにちは 小野寺ゆきえです!』が5月28日号で1000号を数えました。

国政から市政まで、時に鋭く時に優しくコメントし批判し、また家族の様子にも触れた内容は、読者からは「ピンクのニュース」と親しまれてきています。

2003年3月16日に民主苦小牧号外としてスタート。B5サイズで小野寺議員の活動地域(錦岡、ときわ、澄川、大成、青葉、永福、日吉、新富、光洋など各町)に配達されている「しんぶん赤旗日曜版」や「赤旗日刊紙」に毎週折り込み、届けられています。



実させ、平和を願う人々と力合わせ本気でたたかうと血気盛んです。

小野寺議員は、20年間続けられてきたのは読者のみなさんの激励があったからこそと感謝をのべています。「印刷を引き受けてくれ、2000号をめざして付き合うよと声をかけてくれた藤間さんのおかげで、さばれなかった」とも心情を吐露しています。

この20年のなかで、小野寺議員は議会対応に全力をそそぎ、5人の子どもの育児に追われながらも、いまでは上の4人それぞれが家庭を築いています。6期目に入った議員活動も、命と暮らしを充

## 言い出しつぺが最後まで付き合うよ

小野寺「ニュース」の発行を支えてきた錦岡在住の藤間聰夫さんの創刊などにかかわる思い出などを紹介します。

『こんにちは 小野寺ゆきえです!』通称小野寺ゆきえの「ピンクのニュース」。気持ちも新たに10001号がスタートしました。

振り返ってみれば2003年明けて間もなく、小野寺さんが4月の苦小牧市議選に初挑戦と発表され、以後支持を広める取り組みが急ピッチで進められました。しかし、告示まで1カ月と迫りましたが、「小野寺ゆきえって、何



## 生業と暮らしを守るために党インボイス実施中止を日本共産党

さて、書くことができてその後、校閲、編集、印刷、「しんぶん赤旗日曜版」への折り込みの仕分け。これらを候補予定者に任せるわけにはいかず、言い出しつぺの私が引き受けてA5版の第1号が2003年3月16日付け「日曜版」に折り込まれました。A5版では字が小さくてだめと第2号からB5版となつて、今まで発行し続けました。

2003年3月16日から今日2023年6月4日まで7386日。うち日曜日は1056回、でも日曜版は年末年始の合併号、またGW、お盆の時期にも合併号があつて、発行しない日曜日が50数回。加えて公職選挙法の関係で発行できないときもあつて、結局、自己都合で発行をお休みしたのは、なんと1回のみでした。

ここまで付き合つてのことですから、最後まで付き合うか、と決めたところです。

この状況を打破するために何か手はないか思案中、私が室蘭在住の折、これまた登別市議選に初挑戦した渡部雅子氏の「ミニニュース」の取り組みを思い出し、小野寺さんに提案。「文を書くことには何の苦もないから、やるやる!」と。

## ほんの紹介

◆「マスゴミ」って言うな! 斎藤貴男著(新日本出版社) 2090円(税込) 気骨のジャーナリストがメディアと国民に送る辛口エール日記。

## 東電は誠意をもって賠償を

5月24日の東日本大震災復興特別委員会、東京電力・福島第一原発事故の賠償問題を取りあげました。昨年暮れのこのお歳暮を探していたら、福島県伊達地方に伝わる「あんぼ柿」を見つけました。「やつと売り出せるようになったのか」と思い購入しました。ところが、そうではなかったのです。

今年4月、福島県農林産物の、東京電力と政府への農産物被害の賠償を求める要請行動に参加しました。2011年の原発事故後、ずっと続いている交渉です。いまも「あんぼ柿」を販売できない生産者が訴えま

した。「わたしのあんぼ柿は大きくて、放射性セシウムの検査機を通せない。大玉の自慢のあんぼ柿を出せないし、楽しみにしている消費者に届けられない」。

ヤマゴボウの葉(「ごんぼっぱ」)を材料にした、地域伝統の「凍みもち」も作れません。材料になるごんぼっぱが、原発事故で汚染されているからです。減収は大きく、生産者は東電に賠償を求めました。

しかし、東電は賠償すると言いません。「17年から賠償方式を変えました」「材料がないなら他から探してください」。

冷たい回答に、怒りの声が飛び交いました。商品にするまでの生産者の苦労や、素材と品質へのこだわりをまったく理解しようとしません。



アイヌのサケ漁国際シンポで(27日浦幌町)

紙智子(かみ・ともこ) 日本共産党参議院議員

中学卒業まで通院に助成を。「乳幼児等医療費助成制度の年齢拡大を求める署名」に「協力をお願いします」。